

多くの会社が、新たな人材を求めてはいるものの…。

今、企業が求めている人材とは、どのような人材でしょうか。昨今の雇用問題の解決には、企業と求職者との価値観のギャップを小さくすることが大切であると思われます。社会で競争する一企業が、自分に何を求めているか、今一度、考え直してみてもいいのではないでしょうか。

雇用問題について京都新聞より取材を受け、インタビューの一部をご掲載いただきました。(2013年3月22日付)

ne@mb.kyoto-np.co.jp

「いい子」なだけでは…



今春卒業の大学生らを対象に開かれた合同企業説明会。予想以上の参加者でこたえ返した(京都市南区・京都テルサ)

働く一歩

内定のない春

「話していても、全然悪い印象は持たないけどね」。向かい合うキャリアカウンセラーの言葉に、花岡大に通っていた稲葉菜里子さん(22) 京都市西京区IIは、首をかしげた。「なのに、どうして決まらないんだろ。この1年で、希望の職種を20社以上受けた。卒業式を終えたが、まだ就職先は見つからない。教育関係の仕事を目指して勉強してきた。話し好きで、人見知りもしな

① 求人はあるのに

い。人間関係は得意なほうだ。企業面接では、好感度だと思ったことも何度もあった。「夏には内定がもらえると思っていたんですが」。想像以上に厳しかった。卒業シーズンを迎えても、なお仕事が決まらない。そんな4年生は少なくない。今月11日、南区の京都テルサで開かれた合同企業説明会には、卒業生を控えた学生約360人が訪れ、企業ブースに行列を作った。参加者は予想の倍。「就職が決まらない子がこんなにいるのか」。主催した京都府の「自分が必要としてくれる会社は、どこにあるのか」とわからなくなった。「企業は、どこも人がほしい。ただ、『確実に仕事をしてくれる人』にこだわっている。採用人数に満たなくても、採用レベルを下げない『厳選採用』の流れがある」。中小企業の採用活動を支援する府中小企業人材確保センターの山口康徳さんはそう話す。合同企業説明会に積極的に参加している企業からは、「採用人数はあくまで目安」「絶対評価でなく絶対評価」といった声が聞かれた。

厳選採用、大卒の価値変化

の担当者は驚きの表情を見せた。一方の参加企業も、50社の枠に100社以上の応募があった。絶対評価で確実に「求人はたくさんあるのに、どうして自分には内定が出ないのか」。学生からは、そんな声が聞こえる。「学生がえり好みするからだ」という指摘もあるが、大阪の私立大に通う伊藤友輔さん(22) 南区IIは、求人が多いといわれる福祉業界を受け、採用に至らなかった。面接が厳しく、「自分を必要としてくれ

る会社は、どこにあるのか」とわからなくなった。「企業は、どこも人がほしい。ただ、『確実に仕事をしてくれる人』にこだわっている。採用人数に満たなくても、採用レベルを下げない『厳選採用』の流れがある」。中小企業の採用活動を支援する府中小企業人材確保センターの山口康徳さんはそう話す。合同企業説明会に積極的に参加している企業からは、「採用人数はあくまで目安」「絶対評価でなく絶対評価」といった声が聞かれた。

卒業生は、どこにも求人があるのに、どうして自分には内定が出ないのか。学生からは、そんな声が聞こえる。「学生がえり好みするからだ」という指摘もあるが、大阪の私立大に通う伊藤友輔さん(22) 南区IIは、求人が多いといわれる福祉業界を受け、採用に至らなかった。面接が厳しく、「自分を必要としてくれる会社は、どこにあるのか」とわからなくなった。

調査は従業員5人以上の企業4340社を対象に行い、1082社から回答を得た。それによると、14年卒の採用基準については「前年並み」が76.1% (前年比1.4%増) で最も多く、「厳しくなる」は17.0% (同1.0%増)、「緩くなる」は1.2% (同0.4%増) だった。また、全体的な就活スケジュールの見直しは、「前年と同じ」が72.1% (同35.1%増) で、多くの企業が、13年卒から12月開始となった就活に適応しつつあることをうかがわれた。一方で「早く」も22.7% (同9.5%増) 理由については、63.8%が「より優秀な人材の確保」を挙げた。

競争相手も多様
大学全入時代で進学率が
高まる一方、IT化や
グローバル化で外国人留

学生に目を向ける企業も
増え、大卒が担ってきた
中間層の「イース」は減っ
ている。山口さんは「大

卒業生は、どこにも求人があるのに、どうして自分には内定が出ないのか。学生からは、そんな声が聞こえる。「学生がえり好みするからだ」という指摘もあるが、大阪の私立大に通う伊藤友輔さん(22) 南区IIは、求人が多いといわれる福祉業界を受け、採用に至らなかった。面接が厳しく、「自分を必要としてくれる会社は、どこにあるのか」とわからなくなった。

調査は従業員5人以上の企業4340社を対象に行い、1082社から回答を得た。それによると、14年卒の採用基準については「前年並み」が76.1% (前年比1.4%増) で最も多く、「厳しくなる」は17.0% (同1.0%増) 「緩くなる」は1.2% (同0.4%増) だった。また、全体的な就活スケジュールの見直しは、「前年と同じ」が72.1% (同35.1%増) で、多くの企業が、13年卒から12月開始となった就活に適応しつつあることをうかがわれた。一方で「早く」も22.7% (同9.5%増) 理由については、63.8%が「より優秀な人材の確保」を挙げた。

卒業生は、どこにも求人があるのに、どうして自分には内定が出ないのか。学生からは、そんな声が聞こえる。「学生がえり好みするからだ」という指摘もあるが、大阪の私立大に通う伊藤友輔さん(22) 南区IIは、求人が多いといわれる福祉業界を受け、採用に至らなかった。面接が厳しく、「自分を必要としてくれる会社は、どこにあるのか」とわからなくなった。

調査は従業員5人以上の企業4340社を対象に行い、1082社から回答を得た。それによると、14年卒の採用基準については「前年並み」が76.1% (前年比1.4%増) で最も多く、「厳しくなる」は17.0% (同1.0%増) 「緩くなる」は1.2% (同0.4%増) だった。また、全体的な就活スケジュールの見直しは、「前年と同じ」が72.1% (同35.1%増) で、多くの企業が、13年卒から12月開始となった就活に適応しつつあることをうかがわれた。一方で「早く」も22.7% (同9.5%増) 理由については、63.8%が「より優秀な人材の確保」を挙げた。

「会社経営は、慈善事業じゃない。どんなに厳

2014年の新卒採用基準は前年並み
人材サービス大手「リクルートキャリア」(東
京都千代田区)の研究機
関「就職みらい研究所」
は、企業の新卒採用活動
などをまとめた「就職白
書2013」を発表した。